

熊谷市史編さん委員会・専門部会 報告

(令和三年一月～二月)

I 熊谷市史編さん委員会報告

令和二年度熊谷市史編さん委員会

日時 令和三年三月二日(月) 午後二時開会

場所 熊谷市妻沼中央公民館 会議室一の一

【概要】

○委嘱状交付

熊谷市自治会連合会の役職者の交替に伴い、同連合会からの推薦に基づき、前任者の残任期間における当委員会の委員を次の方に委嘱することとしたため、同人に委嘱状を交付した。(敬称略)

丸岡 孝夫 (市民団体の代表者)

○議 事

(報告事項)

次に掲げる事項について、報告を行った。

①各専門部会の活動状況について

本年度(令和二年度)以下、本項において同じ。)における各専門部会の調査等の活動の状況について、部会長等が当委員会の委員で、かつ、今回の会議に出席している部会(中世石造物担当、近世)については当該部会長等から、それ以外の部会(中世、近代・現代、仏像・仏画)については事務局から、それぞれ報告を行った。

②事務局の活動について

本年度、事務局において行った古文書調査、新聞記

事の目録作成、行政文書（歴史公文書等）の整理及び保存、市政宅配講座等への職員の派遣等の活動について、報告を行った。

③『熊谷市史 調査報告書 中世の石造物』の刊行について

本年度刊行の『熊谷市史 調査報告書 中世の石造物』について、調査及び編集に携わった栗岡眞理子委員から、これまでの経緯（悉皆調査等）や同書の特徴等に関する説明が行われた。

その中で、新たな初発期板碑が多く発見されるなど、報告、考察ともに多くの成果があったこと等についての言及がなされた。

（審議事項）

次に掲げる事項について、協議を行った。

①『熊谷市史 資料編 5 近世3（妻沼地域編）』について
令和三年度に刊行を予定している『熊谷市史 資料編 5 近世3（妻沼地域編）』について、内容や印刷及び製本等の概要（案）について事務局から説明した後、この案に関して協議が行われた。

その結果、事務局の案について特に異論等はなく、

当該案のとおり進めていくことが了承された。

令和三年度第一回熊谷市史編さん委員会

日時 令和三年一月二四日（水）午後二時開会
場所 熊谷市立熊谷図書館 第一講座室

【概要】

○委嘱状交付

新任期の初回の会議に当たり、新たに委嘱した当委員会委員（以下「新委員」という。）〔出席者九名〕に対し、教育長から委嘱状の交付を行った。

なお、新委員は、次のとおり。（敬称略）

影山 琢也（市議会議員）

大山 美智子（市議会議員）

黨 千羽鶴（文化財保護審議会委員）

飯塚 好（知識経験を有する者）

老川 慶喜（知識経験を有する者）

北村 行遠（知識経験を有する者）

栗岡 眞理子（知識経験を有する者）〔欠席〕

宮瀧 交二（知識経験を有する者）〔欠席〕

平井 加余子 (市民団体の代表者)

丸岡 孝夫 (市民団体の代表者)

建部 好江 (公募による市民)

○委員長及び副委員長の選出

互選により、委員長に飯塚好委員が、副委員長に北村行遠委員が、それぞれ選出された。

○議事

(説明事項)

新任期の初回の会議に当たり、次に掲げる事項について、事務局から説明を行った。

①熊谷市史編さん委員会について(所掌事務、組織、委員の任期等)

②熊谷市史編さんについて(熊谷市史編集委員、熊谷市史編さん大綱、各専門部会等)

(報告事項)

次に掲げる事項について、報告を行った。

①各専門部会の活動状況について

本年度(令和三年度。以下、本項において同じ。)における各専門部会の調査等の活動の状況について、部長が当委員会の委員で、かつ、今回の会議出席

している専門部会(近世、近代・現代)については当該部会長から、それ以外の専門部会(中世、仏像・仏画)については事務局から、それぞれ報告を行った。

②事務局の活動について

本年度これまでの期間における市史編さん室の活動(古文書調査に関すること等)について、事務局から報告を行った。

(審議事項)

熊谷市教育委員会からなされた「熊谷市史編さんについて」「熊谷市史編さん大綱」の改定について」の諮問に関し、審議を行った。

事務局から、次に掲げる当該諮問の内容について説明を行い、その後、質疑等がなされた。

一、新たな刊行書籍として『熊谷市史調査報告書 荻

野吟子その歩みと出会い』を熊谷市史編さん大綱

(以下「大綱」という。)中の刊行計画及び年次計画

に加えるとともに、当該年次計画において、その刊

行年度を令和四年度とする。

※併せて、同書に掲載する内容(予定)について、

概要を説明した。

二、今後刊行を予定する「熊谷市史」の本編のうち、次の各巻に関し、大綱中の年次計画において定める各刊行年度について、記載のとおり変更する。

・資料編6（熊谷地域編 近代・現代（上巻））

〔現行〕令和四年度↓〔変更後〕同一〇年度

・通史編中巻（近世）

〔現行〕令和一・二年度↓〔変更後〕同一二年度

・通史編下巻（近代・現代）

〔現行〕令和一〇年度↓〔変更後〕同一三年度

※ 主な質疑（意見）として、配付資料（大綱の改定案中の年次計画）における記載方法に関する改善の提案等があった。

審議の結果、前記の諮問内容について異議等はなく、次回の会議において、この審議結果を踏まえて答申をまとめることとなった。

（文責 大野 幸人）

Ⅱ 専門部会活動報告

一 中世専門部会

中世専門部会長 高橋 修

当専門部会は、平成二四年度に『熊谷市史 資料編2 古代・中世』を、平成二九年度に『熊谷市史 通史編上巻 原始・古代・中世』を刊行し、『熊谷市史』本編については、その編さんを終了している。前記のほかに、調査報告書『中世の石造物』と『直実・実盛伝説』の編さんを担当しており、それぞれ以下の活動を行った。

1 調査報告書『直実・実盛伝説』

新型コロナウイルス感染症の拡大につき、今年度も、期間中に会議等を開催することはできなかったが、従来決定していた方針に従って、各担当が資料の収集や調査を行った。

2 調査報告書『中世の石造物』

令和三年三月に、二分冊からなる報告書を刊行した。

石造物所蔵者、市民、研究者等様々な方面から好評を得ているところである。残念ながら、新型コロナウイルス感染症の拡大もあり、刊行を記念するイベント等は開催できなかったが、令和四年五から六月にかけて、市立熊谷図書館でこの本に関連した連続歴史講座を予定している。

長年にわたり、調査、編集等を行っていた担当編集委員、調査等に御協力いただいた所蔵者、関係者及び関係機関に心より感謝申し上げたい。

二 近世専門部会

近世専門部会長 北村 行遠

近世専門部会では、令和三年は『熊谷市史 資料編5 近世3（妻沼地域編）』（以下『資料編』という。）の刊行に向けて活動した。

部会の開催は、令和二年度の第三回、令和三年度の第一回・第二回・第三回・第四回で、年度内の令和四年にあと二〜三回の部会を予定している。あわせて、各部会の前には、近世編（三巻分）の各巻を担当する委員（巻

担当者）による打ち合わせを行った。二月二十五日、五月十四日、六月二日、七月七日、八月二五日、一〇月八日、十一月八日、十二月九日の計八回である。

以下、各部会の活動内容について略述する。

令和二年度第三回部会（令和三年三月二七日）

1 事務局報告 事務局から古文書調査の現状、今年度の刊行物などの報告があった。

2 『資料編』の進捗状況 事務局から筆耕原稿の提出状況について報告があり、各章の担当者による筆耕作業の現状、及び今後の進め方について確認した。

3 刊行に向けての計画 事務局から『資料編』刊行に向けたスケジュールについて報告があり、若干の修正を加え、このスケジュールに従うことを確認した。

4 調査の報告・計画 事務局から新たに発見された妻沼地域の古文書についての紹介と、今後の計画について報告があった。

令和三年度第一回部会（令和三年五月三〇日）

1 事務局報告 事務局から古文書調査の現状、今年度

の刊行物の予定などの報告があった。

- 2 『資料編』の進捗状況 事務局から各章ごとの筆耕原稿提出状況について報告があり、全体の頁数の見とおしと解説部分の頁数の割り振りについて検討した。

- 3 刊行に向けての計画 令和二年度第三回部会で確認した『資料編』刊行に向けたスケジュールについて改めて確認した。

- 4 その他 『資料編』の書名について、従来は「近世3（妻沼地域）」としていたが、熊谷市史としての統一性をはかるため「近世3（妻沼地域編）」とすることに決めた。

令和三年度第二回部会（令和三年八月一日）

- 1 事務局報告 事務局から継続して行われている古文書調査について現状報告があった。

- 2 『資料編』の進捗状況 事務局から各章ごとの入稿状況について報告があった。また、解説部分の書き方、凡例の書き方について検討を行った。その他、口絵の候補となる資料について検討した。

- 3 刊行に向けての計画 『資料編』刊行に向けたスケジュールは、現在の進捗状況にあわせたものが示され、確認した。

- 4 その他 事務局から『資料編』で扱う古義真言宗寺院の法談に関する聞き取り調査の報告があった。

令和三年度第三回部会（令和三年一〇月三日）

- 1 事務局報告 事務局からその後の古文書調査について現状報告があった。

- 2 『資料編』の進捗状況 事務局から各章ごとの入稿・校正状況について報告があった。また、口絵に掲載する資料の案が示され検討した。あわせて、『資料編』別冊付録『妻沼聖天山の絵馬・扁額』の進捗状況について報告があった。

- 3 刊行に向けての計画 諸機関が保管・所蔵する資料の写真で、不鮮明なものについての再撮影の予定が示された。

令和三年度第四回部会（令和三年一二月五日）

- 1 事務局報告 事務局からその後の古文書調査につい

て現状報告があった。

2 『資料編』の進捗状況 事務局から各章ごとの入稿・校正状況について報告があり、口絵・解説を含めた全体の頁数の見とおしが示された。

3 刊行に向けての計画 予定の頁数を超過している章の確認、及びその調整を検討した。また、解説の頁数、組み方について確認した。

4 その他 とくに判読困難な文字の扱い、表記の仕方について検討した。

三 近代・現代専門部会

近代・現代専門部会長 老川 慶喜

近代・現代専門部会では、新型コロナウイルス感染症の状況に留意しながら、専門部会会議の開催の時期及び方法を検討した結果、従来どおり会場への参集による他に、オンラインでの参加も可能とする方式により、感染状況が比較的落ち着いていた二二月に第一回の会議を開催した（当初、第一回の会議の開催を八月に予定していたが、七月末からの感染の状況の急拡大を受けて延期した）。

なお、この間も、各編集委員において個別に調査を進めた。

令和三年度第一回近代・現代専門部会会議

（令和三年一二月二日 市立商工会館）

①編集委員（新任委員）の紹介
初参加となる笠原健司特別調査員（教育分野担当）を紹介した。

②熊谷市史編さん年次計画の改定案について

事務局から、『熊谷市史資料編6 近代・現代1 熊谷地域編上』及び『熊谷市史通史編下巻』の刊行年度を、それぞれ令和一〇年度及び同一三年度に変更する案（今後、熊谷市史編さん委員会の答申等を経て、今春に決定予定）についての説明を受け、了承した。

③担当分野の確認、目次の検討等について
大まかな担当分野を確認した後、新たな目次案について、来年度夏以降に開催予定の会議までに各編集委員が検討することになった。

④現代に関する政治行政分野の担当者について
現代の政治行政の分野について、現状では担当者が山

本喜久治協力員のみであるため、協議の結果、伊藤陽平委員が近代との兼任により担当することになった。

⑤今後の活動について

『熊谷市史 資料編7 近代・現代2 熊谷地域編下』については、刊行時期が近い（令和七年度予定）ため、担当者は来年度にかけて各自調査を進めるとともに、必要に応じて巻担当者を会議を行うこととした。

なお、事務局活動報告の中で、『熊谷市史 調査報告書 荻野吟子その歩みと出会い』を新たな刊行書籍として加え、令和四年度に刊行する予定であることについて説明があり、了承した。

また、今回の会議は、三月末までに開催する予定とした。

荻野吟子史料集担当

1 経緯等について

平成三〇年度発行の『熊谷市史 資料編8 近代・現代3（妻沼地域編）』では、当市俵瀬出身で、本邦公許女性医師第一号の荻野吟子に関係する史料を取り上げた。しかし、誌面の関係から、書状などの一次史料を中心と

した五一点の掲載にとどめた。多くの記録史料が掲載できなかったことから、近代専門部会での意見も踏まえ、「熊谷市史料集」の一つとして関係史料を収録することとした。

令和三年六月一日に、荻野吟子やその周辺において研究実績がある次の三名を特別調査員として委嘱し、近代・現代専門部会内の特別班を組織して、史料集の作成を進めることとした。

・尾崎 泰弘（飯能市立博物館長）
・林 美枝子（日本医療大学教授）
・広瀬 玲子（北海道情報大学教授）

史料集の調査、編集等を進める中で（詳細については2以下を参照）、今まで知られていなかった多くの史料が見いだされ、今までの荻野吟子像の大きな見直しが見られることになった。荻野吟子については、埼玉県の大蔵人に選ばれるなど関心が非常に高く、新たに得られた成果についても、多くの市民が興味を持つと予想される。

ついては、令和三年一〇月の定例教育委員会において、当初計画していた史料集から、「熊谷市史 調査報告書」

の一つとして刊行し、より充実した内容としたい旨を熊谷市史編さん委員会に諮問することが決定した。このことについて、一月の令和三年度第一回熊谷市史編さん委員会で審議され、賛同を得た。現在、今後の答申及び決定に向けて調整中である。

2 編集会議の開催

六月から一二月までに、次の五回の編集会議がオンラインで行われた。

- 1 第一回編集会議（令和三年 六月二四日）
- 2 第二回編集会議（令和三年 七月二二日）
- 3 第三回編集会議（令和三年 九月 六日）
- 4 第四回編集会議（令和三年一〇月二二日）
- 5 第五回編集会議（令和三年二月 七日）

現在までに、主なものとして下記の事項を決定した。また、個別の執筆箇所についての審議も行っている。

① 目次

主要事項は、全体解説、史料集、人物解説、出典解説、年表とする。全体解説は、これを読めば荻野吟子の生涯が分かるようなものとし、多くの市民が理解できるように

平易な文章を心がけることとした。史料集は、原則として編年順とし、各史料に解説を付ける。

② 担当

尾崎委員が、田中家文書と井上頼圀門下時代について担当する。広瀬委員は、好寿院時代～北海道渡道以前、没後の周辺人物の吟子評や近代の顕彰事業について担当する。林委員は、北海道時代と現代における北海道での顕彰事業を担当する。事務局蛭間は、熊谷在住時代、東京女子師範学校時代、晩年の吟子、現代の熊谷での顕彰について担当する。

③ 刊行までのスケジュール

令和四年度中の刊行を目指し、史料集及び個別解説の原稿を令和四年三月まで、そのほか原稿を四月までに提出し、以降校正等を進めていくこととした。

④ 写真等

吟子や志方之善の写真については網羅的に掲載をする。また、適宜、文書写真等も掲載を検討する。

3 調査について

一部の史料については、各委員が、所蔵者、関係機関

等と連絡を取り、精査を行っている。

また、一〇月九・一〇日には、林委員、広瀬委員による今金町・せたな町の資料等調査が行われた。今金町では、吟子・之善夫妻とともに初期のインマヌエルに入植し、その後成功を収めて定住した天沼恒三郎の家を訪問し、「天沼恒三郎日記」の借用を行った。せたな町では、瀬棚郷土資料館の調査を実施し、吟子関係の史料を精査した。なお、調査では、天沼彰範氏、せたな町教育委員会工藤大氏から多大なる御協力をいただいた。誌面を借りて感謝の意を表したい。

4 進捗状況について

①掲載史料リスト

令和三年九月までに大まかな作成を終了した。各委員から吟子やその周辺に関する史料が提出されまとめた。今後、新発見のもの等について追加していく。

②翻刻・入力等

各委員から、原史料の複製又はそのデータを提出してもらい、事務局水品を中心に、翻刻・入力を行った。現在、全体の約九割を終えている。判読が難しい史料につ

いては、水品と補助職員滝沢によって再確認等を行っている。

③執筆

個々の委員が史料解説から作成し、できた部分について編集会議にて検討を行っている。

四 仏像・仏画専門部会

仏像調査専門部会長 林 宏一

1 仏像・仏画悉皆調査

平成二四年から調査を開始し、令和三年は一〇年目となる。

本年も、コロナウイルス感染症流行の影響により、当初予定されていた二月と九月の調査が中止となったが、八日間四か所の調査を行うことができた。

調査内容は、写真撮影及び寸法や形状・材質等を記した調査カードの作成等である。この一年間で、一〇〇〇点超の仏像・仏画等の調査を終えた。一〇年間の累計では、三、六〇〇点超の調査を行ったことになる。

なお、令和三年調査分のうち七日は、上奈良在家集會

所にある千体仏の調査にあてた。像高一四cm程度の木造阿弥陀如来立像が約九五〇体発見され、一体ごとの詳細な調査を行った。この調査の前後には、西口由子専門調査員を中心に、六日間の調査準備や復旧を行うための作業を行っている。また、調査後の調査カードと写真の整理も西口委員が行った。

令和三年に実施した調査は以下のとおりである。

1 上奈良在家集会所

(三月八日、四月二〇日、五月一八日、六月二二日)

七月一九日、一〇月二六日、十一月二二日)

※ 七月一九日は、在家集会所から奈良公民館に像を移し、調査を行った。

2 上奈良二ツ道集会所 (二月二〇日)

3 上奈良並木集会所 (二月二〇日)

4 永井太田個人持仏堂 (二月二〇日)

最後に、所蔵者、自治会関係者等の多大なる御協力に
対して、心よりお礼申し上げます。

2 「調査報告書 仏像・仏画2」の編集

「調査報告書 仏像・仏画」については、全三冊を予定しており、すでに令和元年度に第一冊目を刊行したが、第二冊目の報告書の刊行に向け、令和三年二月一四日に第一回目の編集会議を行った。

「仏像・仏画2」の基本方針としては、「仏像・仏画1」を踏襲する。対象地域は、熊谷(市街地)、石原、大幡、玉井、佐谷田、久下、別府、星宮地区とし、「仏像・仏画1」の対象地域で、刊行後に調査したものについても掲載する。なお、上奈良在家集会所の千体仏については、数が多いのですべてを詳細に掲載することはせず、数ページを使った概要にとどめ、改めて報告書等の刊行を検討することとした。